



消防だより

9月の広報テーマ

「風水害による事故防止」

119

風水害に備えよう

集

中豪雨は、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、梅雨の終わりころから秋にかけてよく起こります。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は比較的困難です。がけ付近や造成地などは気象情報に十分注意しましょう。

く前兆現象

〔土石流〕
山鳴りや立木の裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる。

〔地すべり〕

地面にひび割れができる。わき水や井戸の水が濁る斜面から水が噴出す。

〔がけ崩れ〕

がけからの水が濁る。がけに亀裂が生じる。斜面から小石がパラパラ落ちてくる。



土砂災害は、一時間に20ミリ以上、または降りをはじめてから100ミリ以上の降雨量になったら要注意です。

新手法の詐欺「東京で続発」 住宅用火災警報器販売

「消防署」をかたり、市価よりも高額な住宅用火災警報器を売りつける業者が東京で「出沒」しています。警報器の設置義務付けに日をつけた新たな悪質商法です。

消防職員と同じように青の作業服を着ている業者もいるようですが、消防署の職員が訪問販売することはありません。

また、難解な消防用語も織り交ぜた巧みな話し方で、一人暮らしの高齢者や昼間一人になる専業主婦を狙って訪問するケースが多いようです。不審な業者が家や店にきたら、まず近くの消防署に相談してください。

全道消防救助技術訓練指導会で2種目制覇!!

全道消防救助技術訓練指導会

が7月14日、札幌市で開催され、西胆振消防組合からは、3人1組の「ほふく救出」と個人種目「はしご登はん」に出場し、共に見事優勝を成し遂げました。

「ほふく救出」で優勝したのは、消防署の結城勉さん、豊浦支署の工藤晃也さん、壮瞥支署の根本健二さんの3人。また、「はしご登はん」は温泉分署の工藤政年さんが優勝。共に全国大会への切符を手に入れました。



町長との優勝記念撮影

統一標語は「火は消した? いつも心にきいてみて」

7月の...
●●火災
●●救急
31件
30件

わたしのうた

短歌【あぶた短歌会】七月定例会より

清廉の象徴として尊ばれし

柳次郎公の史実遙けし

いづこにて根付くにあらむ蒲公英の

暑い日が二日つづけば寒くなり

夏季をこえて秋せまりくる

夜半からの雨も上りぬ半夏生

空青々と鉄線も映ゆ

青葉風胸いっぱい吸ひながら

仰ぎ見るなり七月の空

文月の狭庭をしめてひらき初む

鉄線の花の彩ふむらさき

月に二度通院のたび母見舞ひ知人にも

出合えるたのしみもあり

アマリスピンクのしぼりに目を細め

濃霧はれし伊達郊外に建ち並ぶ

ビニールハウスの陽射しまばゆし

ゆずらざるわが狭量に

吹さくる海よりの風深く息すう

早朝の庭に毎日通ひ来る小鳥の

声に目覚めさわやか

俳句【あぶた俳句会】八月定例会より

ひたひたと暮れゆく峡や海霧匂ふ

盆波によるけていたる鷗かな

金婚を迎ふる茅の輪くぐりけり

夕焼けを引き攀つてゆく貨車長し

語り会ふ日傘の触れも心地よく

ボーズ決めし鏡の中に夕焼入る

西瓜買ふラップ包みの四半分

カンカンと開かぬ踏切大西日

菅原 敏子
小笠原 勇
矢野 知子
井村 育子
瀬川 総
那須 伶子
塩川 サチ子
三瓶 修

赤塚 瑛子
斎藤 テツ
太田 智
北島 加代
大西 芳子
山木 孝
伊藤 静子
室野 晃慶
石黒 まさ子
中野 イマ
大久保 とみ乃

